

いなみ まちプロ「クラフトユニバーシティ構想」の推進

井波地域はこれまで、宮大工からはじまり、彫刻師や塗師、木地師など様々な人々を受入れ、それらを育て、そして多くの人材を輩出してきました。これは、学びを積み重ねたことにより生まれた創造に他なりません。

この学びの聖地としての井波地域をさらに深化させるため、「新たな価値を創造するまち：クラフトユニバーシティ構想」を掲げ、井波地域全体で実現していきます。

1. 旧庁舎及び旧井波美術館を活用した面的な仕掛け

- ・井波地域を「学びと創造」の拠点地域とする。
- ・旧庁舎は学びの拠点及び長期滞在が可能な場所として、旧井波美術館は井波のものづくりと食文化が融合した場所として位置付ける。
- ・井波のまちなかにおいて、点ではなく面的に、この2つのエリアを活性化させることで、お互いの相乗効果で、まずは滞在時間を延ばし長期滞在につなげる

2. 旧庁舎は PPP 公民連携による取組み

- ・旧井波庁舎建物の所有権は民間に移転せずに、運営権のみを長期にわたって付与する、コンセッション(公共施設等運営権)方式として活用
- ・サウンディング型市場調査の実施

3. 旧井波美術館は民間主体による取組み

- ・旧井波美術館の所有権は地元による運営組織が取得し、にぎわいの拠点として協働できるテナント入居者と連携し、運営体制を確立

4. 旧庁舎の具体的な機能について、サウンディング型市場調査を行う際の基本方針

①クリエイティブスクール事業

- ・中長期滞在者向け、少人数ものづくりスクール。工作機械を使える場所

②デジタルスクール事業(データサイエンティスト養成スクール)

- ・ビックデータを活用した分析を行い社会に貢献できる人材を育てる。

③宿泊体験事業

- ・アトリエ付き中長期滞在宿泊施設として、リモートワーカーや芸術家、作家が一定期間住み続けながらクリエイション(創造)を行えるアトリエ(オフィス)付き宿泊施設(大人の宿泊学習のようなイメージ)

④テナント賃貸事業

- ・飲食、サテライトオフィス

⑤交流促進事業

- ・公衆浴場、地域交流施設(子どもが遊べる場所、木をテーマにしたあそび場)

⑥資源再生エネルギー事業

- ・ペレット発電事業、リビルディングセンター(廃材の活用)

⑦地域行政機能

5. 運営体制について

- ・地域が主体的に関わることができる運営会社で、施設を運営することにより、地域が自分事として関わっていくことが望ましい。